

IV 野外生活

1. キャンピング【所要時間 設営60分～90分 撤収50分 80名】

- (1) ねらい 野外で仲間とともに自然に身を委ねることによって、自然に親しみ、生活技術や知恵を身につけ、協力することや責任をはたすことの大切さを体得させる。
- (2) 事前指導・準備
- 児童・生徒：作業しやすい服装，洗面用具，懐中電灯，軍手，その他必要な衣類，班員分担表（班員名，役割分担など記入），防虫剤，ゴミ袋
 - 引率者：班編制，役割分担，テント設営区分の配置，救急薬品など
 - 所員：5人用テント，フライシート，毛布，蚊とりせんこう，補充用ペグ，業務用無線，防虫剤
- (3) 指導上の諸注意（引率者）
- 野営のためには，班員の分担と協力が欠かせないことを理解させる。
 - 不測の事態に対応できるように引率者の役割分担を明確にし，周知徹底させる。
 - テント内の火気厳禁，マムシ予防などの危険防止に関する注意事項や保健衛生上の指導事項，野営生活のきまりについて十分に指導して理解させる。
- (4) 活動展開例

段階	活動内容	時間(分)	児童・生徒の活動と活動への支援	備考
設 営 (60分～90分)	1. 集合，点呼をする。	5	●児童・生徒の健康状態をチェックする。	●キャンプ場
	2. 説明を聞く。	25 }	●テント生活の心得やきまり，注意事項等について知る。	●モデル
		30	●テント設営の順序や方法について知る。	
	3. 設営の準備をする。	5 }	●各班ごとに準備する。	●テント用具
		10	用具係（2名）……テントを受け取り，部品などの数や機能を確認する。 設営係（2～3名）……設営場所の点検と清掃をする。	
	4. テントを設営する。	20 }	●全員が協力して作業をさせる。	●毛布
	40	●設営できた班ごとに，毛布を借りにいく。 ●設営後には，道具を収納袋に入れて，各自の荷物といっしょにテント内部に整頓して置く。		
	5. 集合，点呼をし，連絡を聞く。	5	●以後の日程等について知る。	
	6. テント生活をする。		●班ごとに班名や班旗を作ってテントの外部に掲げてよい。 ●班ごとに班員の役割分担の確認や協力のしかた，自由活動時間の計画や生活上の申し合わせなどについて話し合う。	●マジックペン ●画用紙 ●筆記用具

			<ul style="list-style-type: none"> ●テント生活中は、できるかぎり自発性や創意を生かし、自主自立を基調とした生活体験をもてるようにする。 ●引率者は、絶えず児童・生徒の生活のようすを見守り、生活上のマナーや危険防止のための指導に当たり、安全に留意する。 <p>※風雨等により、キャンプ続行が困難な場合、引率者は所員と相談の上で屋内（PH等）に退避する等の対策を講じる。</p>	
撤 収 (50分)	7. 集合, 点呼をし, 説明を聞く。	15	<ul style="list-style-type: none"> ●班ごとに集合し, 人員を確認, 健康状態をチェックする。 ●テントの撤収や返納のしかたについて知る。 	
	8. テントを撤収する。	30	<ul style="list-style-type: none"> ●全員で協力してテントを解体する。 用具係……用具を整理し, 所員の点検をうけた後, 倉庫に返納する。 設営係……キャンプ場の清掃をする。 	
	9. 集合し, 連絡を聞く。	5	<ul style="list-style-type: none"> ●班別に集合し, 人員が確認できた班から引率者に報告する。 ●引率者から以後の日程について連絡を受ける。 	

資 料

1. 役割分担

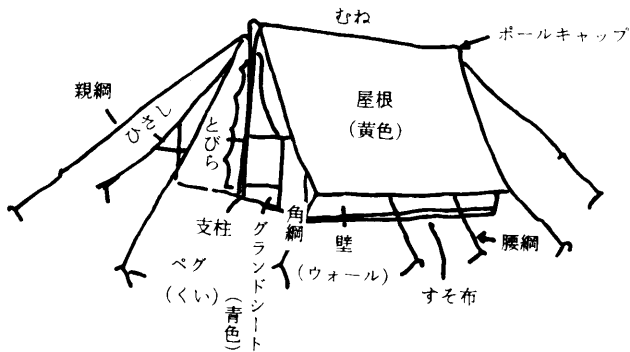
班 長	班のリーダーとして、本部（引率者）との連絡にあたり、班員を統率する。
用 具 係	テント用具・毛布などの借り出し・返納をする。用具点検、整理をする。
設 営 係	テントの設営・解体およびキャンプ場の清掃・後かたづけをする。

2. 施設・設備

- テントサイト……キャンプ場、10張分用の芝生床を2列造成してある。
- テント……5人用テント20張
- 毛布……300枚
- 屋外便所……鉄筋コンクリート建、一棟（男女用の仕切りがある）

3. テントの張り方

〔各部の名称〕



〔作業の仕方〕

図1

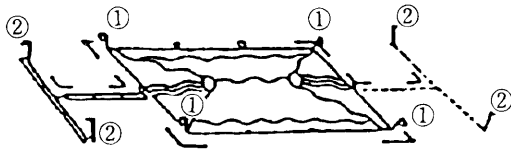


図2

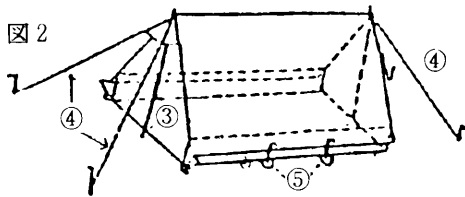
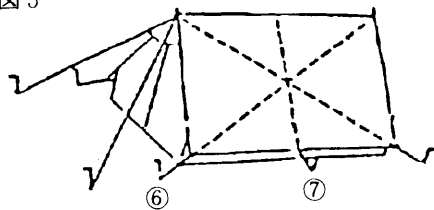


図3



〔テント一式の部品〕

- テント本体 (シートと一体)
- ポール 4 本 (各 3 本に分節可)
- ペグ12, フック 1, ピン10, 金づち 1
- フライシート
- ペグ14, 金づち 1

(1) 敷地に青色のシート部分を下にして、扉のチャックを閉じたまま広げて置く。次に4隅が直角になるように引っ張って、すそ留穴に、ピンを打ちこむ。(図1の①)

(2) ポールをものさしにして入口の位置にT字形に置き、その両端の地点にペグを打ちこむ。(図1の②)

(3) 親綱をゆるめて長くし、ペグにかける。次にポールの上端と下端を「むね」とシートの穴にそれぞれ差し込んで立てる。さらに親綱をしめて前後のポールを直立させる。

(図2の③④)

(4) 残りのピンをすそ留穴に打ちこむ。

(図2の⑤)

(5) 屋根の対角線上にペグを打ちこみ角綱を張る。

(図3の⑥)

(6) 残りのペグを打ち、腰綱を張る。

(図3の⑦)

(7) フライシートを屋根に重ねて張りペグを打ち込む。

4. テントの返納のしかた

(1) フライシートをはずす。

- 腰綱→角綱→親綱の順に、綱をゆるめてペグからはずす。
- 棟を中心に2つに折り、各綱を内側に折りこむ。
- 棟の長さそのままにさらに3つに折り、横に2回折ってから収納袋の上に置く。
- フライシートのペグを抜く。

(2) テント本体をはずす。

- 腰綱→角綱→親綱の順にペグからはずす。
- ポールをはずし、収納袋の上に並べる。
- 入口、すそなどのチャックを全部しめる。
- 棟の部分を一方の底辺に平行にそろえて屋根をたたみ、扉や綱の内側に折りこむ。
- 長辺をそのままにして3つに折り、次に横に2回折ってから収納袋の上に置く。
- ペグとピンをフックで抜いて並べる。

(3) 各部品の点検を受ける。

(4) 返納する。

①点検終了後、黄色の大（テント本体用）、小（フライシート用）2つの収納袋に各部分をまちがえないように分けて収納する。

- ペグ、ピン、金づちはペグ袋に、ポールは12本に分解してポール袋に入れる。
- ペグ袋、ポール袋を中にはさんでテントを巻き、大きい袋（黄色）に入れる。
- フライシート用のペグ、金づちをペグ袋に入れる。
- ペグ袋を中にはさんでフライシートを巻き、小さい袋（黄色）に入れる。

②各袋のひもをしめて、倉庫へ運び、指定の棚に格納する。

